

仮称 文化の森 準備だより ⑬

工事中の「文化の森」2

このコーナーでは、以前に「文化の森」の内部配置図や自然環境などのほか、「文化の森」の工事状況を写真などでご紹介しました。その後、次第に全体が分かるほど工事が進み、多くの人から将来の利用方法などについて関心をよせていただくようになりました。

そこで今回は、工事中の「文化の森」内部を写真で紹介し、イメージをつかんでいただければと思います。

写真1

「文化の森」には市民ミュージアムと教育センターが入ります。その両施設をつなぐのが、写真の渡り廊下です。正面入り口を入ると最初に目にふれます。

写真2・3

「文化の森」で一番目立つのが真中の展望塔です。地上約30メートル。によっきりと突き出た姿は市内の各地から見ることができ、話題となっています。写真右はそこからの遠望です。

写真4

常設展示室の内部です。写真は坪内逍遙と津田左右吉に関する展示スペースです。展示工事もうすぐ開始されます。

写真5

敷地内には復元養蚕農家が建つ予定です。基礎工事が進んでいます。

「文化の森」は今年度末までに工事を終え、準備を整えて来年秋ごろ開館予定です。西暦2000年という記念すべき年に、新しい一歩を踏み出します。



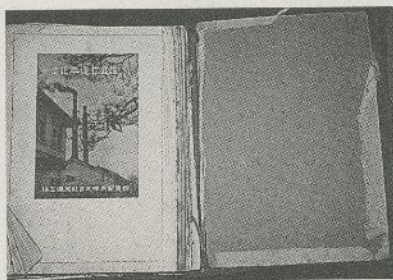
今回は、次の方から貴重な資料を寄贈いただきました。
(平成十一年11月分)

○明治時代のナワナイキ
(岸逸美さん/蜂屋町)

○グンゼ製糸美濃工場

設立20周年アルバム

(桑原文江さん/山之上町)



○机の引出し

戦時中のもので把手が陶器製

(齊藤基生さん/多治見市)

市民ミュージアム建設のため、現在いろいろな資料を集めています。文化課(文化会館内/圃内四〇八)まで情報をお寄せください。